



# 妹 山

令和 2年 1 1月 30日発行

吉野町立吉野中学校

文責 校長 紙岡秀樹

## 本校教育目標

学び合い、鍛え合い、  
ともに生きる

# 師走

年の瀬を迎え、何となく慌ただしさを感じる時期となりました。毎日が長く感じて一ヶ月があつという間に過ぎ去って行くと感じているのは私だけでしょうか？12月は「師走」と言いますが、由来は「師が走る季節、師でも走る季節」と教師を皮肉った見方があります。そうであるのなら、一年を通して「師走」と呼んで欲しいものです。これから

年の瀬に向け忙しくなります。またますます寒さが厳しくなってきます。保護者の皆さんもご自愛いただければと思います。

さて、学校では期末テストが終わり特に3年生にとってはよいよ受験本番となります。自分の希望が叶うようラストスパートをかけて欲しいものです。「受験勉強は人作り」と私は言ってきました。3年生の子どもたちはかなり精神的に辛い部分があり逃げ出したいと思っている人もいるかもしれません。「そこでグッと我慢し頑張ることで人間として成長していく」と今までの子どもたちに言ってきました。苦しいことから逃げない人間、目の前に立ちふさがる「壁」を乗り越えられる人間に成長して欲しいと願っています。

### 1、ふるさと学習・福祉体験（1年生）



「吉野の自然と触れあい 深めよう なかまの輪」の目的で11月6日（金）に国栖陶芸と宮滝野外学校で体験活動を行いました。子どもたちに「ふるさと吉野」について考えるとともに、集団生活のマナーを学ぶこと、成功体験を共有すること等を学ぶことができました。本来であれば1学期に計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため11月にずれ込むことになってしまいました。子どもたちは、気遣うことや心配りすることの大切さ、そして成就感をこの日に学ぶことができたと考えています。また11月10日（火）には、福祉体験を通して人権や共に生きていくために私たちに何ができるのかと

いうことを考えさせました。当日は町の社会福祉協議会の方々に来ていただき、「歩きにくさ」や「作業のしにくさ」をそれぞれ体験しました。この福祉体験の目的は十分に達成できたのだと思います。

## 2、職場体験学習（2年生）

キャリア教育の一環として、2年生では11月4日（水）から6日（金）まで町内11事業所で職場体験学習を実施しました。「大人になればなぜ働くのか？なぜ働かなくてはならないのか？」という大きな命題の下、将来ど



のような職業に就くのか、そのためにはどのような高校や大学、また専門学校に行かなくてはならないのか、どのような資格が必要なのかを学習しています。職場体験学習では、自分で決めた事業所で多くのことを経験させていただいた3日間であったと思います。この経験がいずれ役に立つことと願っています。

## 3、修学旅行（3年生）



卒業時に中学校生活で一番思い出に残っている行事は？と聞けばほとんどの子どもたちが「修学旅行」と答えるほどの大きな行事を11月6日（金）～7日（土）に実施しました。例年よりは短く、近い場所（兵庫県淡路島・徳島県鳴門市）となりましたが実施できたことに喜びがありました。子どもたちがか

なり楽しみにしていたことを二日間、行動を共にさせてもらってひしひしと感じました。「何と大人の集団」というのが感想です。誰一人とわがまを言わず、注意し合ったり、励まし合ったりすることができる、たいへん素晴らしい、好感のもてる学級集団だと感心させられました。これからいよいよ進路決定の時期となります。進路は個人のことですが、誰もが苦しいこの時期を、学級全体で励まし合いながら学習できる雰囲気づくりをして欲しいです。進路実現に向け、今の「大人の集団」のまま乗り切ってもらいたいものです。